

(様式 2)

女性の就農環境改善計画

実施主体名	有限会社かさい農産
取組	(1) 女性が働きやすい環境整備に向けた簡易な改修やリース等による施設等の確保 (2) 地域の女性農業者グループの活動支援
構成員数	71人 (うち、女性の人数: 41人) (令和4年5月時点)

1 事業実施方針

<p>[ 概要・背景 ]</p> <p>弊社は2007年にJGAP、GLOBALG.A.Pを取得し、GAPの理念にも掲げられている「農畜産物の安全を確保して消費者を守り、地球環境を保全し、同時に持続的な農業経営を確立すること」を具体的に実現すべく、経営を続けてきました。この農地を、この地域を、どう将来につなげていくかが大きな課題とされる中、担い手の確保が急務であると考え、本事業の実施を計画するに至りました。</p> <p>かねてより、技術習得を目的とする若手を積極的に雇用し、農業経営の研修・独立・サポートの体制を作り、新規就農を希望する人材の育成に力を注いできました。また、地域将来的に農業の担い手として考えられる65歳未満の根幹的農業従事者の中でも、女性割合は約3割（一関市HP統計情報より抜粋）と男性に比べ依然低い水準となっている点に着目し、子育てを優先した休暇の取得、家事・育児に配慮した勤務体系、短時間勤務制度の創設などを自社独自で整備し、出産・育児を理由に就業が困難となっている潜在的な労働力の発掘・定着化も積極的に行ってきました。</p> <p>[ 解決しようとする事項 ]</p> <p>(1) 女性が働きやすい環境整備</p> <p>研修者数、女性社員数が年々増加する一方、人数に対して十分な屋内休憩スペースや女性専用設備が不足しており、女性社員から増設の要望がでる、女性の積極的な採用に歯止めがかかる、という課題を抱えています。</p> <p>(2) 地域の女性農業者グループの活動支援</p> <p>ソフト面の整備により女性社員は増加したものの、それぞれが日々の業務をこなすことが主になっており、商品開発や広報活動は担当者の個人業務の範囲に留まっているのが現状です。幅広い年代の女性社員が多く所属しており、より多くの意見や想いを集約・活用できる環境があるにも関わらず、時間的・資金的に会社としてグループ活動を行う機会を作れていないことが課題です。</p> <p>また、一次産業が盛んな地域だからこそ、いわゆる3Kと呼ばれるマイナスイメージが根強く、女性があえて「農業」という職種を選ぶという選択にならない点も課題ととらえています。</p> <p>[ 将来的な事業の全体方針 ]</p> <p>まず、女性が働きやすい環境の整備として屋内での休憩スペース兼多目的スペース（女性専用</p>
---

更衣室、簡易託児スペース、会議室等)としてコンテナハウスの設置を検討しています。女性同士の情報交換の場を増やしたり、子供の送迎や買い物に行くための着替えが気兼ねなくできたり、子連れ出勤を短時間からでも可能にできたりと、女性が働きやすい環境を整えることで新規女性農業者の呼び込み、女性農業者の定着を図ります。

同時に、女性社員を中心とした企画グループを立ち上げ、商品開発・販路開拓・働きやすい制度の創設に関わる活動を行い、それらの活動を通じて今いる女性社員同士のコミュニケーション向上ややりがい、農業への関わり合いを増進させることで就労の定着化を図っていきます。女性にも農業はできる、向いている、もっと楽しくやれる、ということをもまずは社員に感じてもらい、発信していきます。

さらに、女性グループによる活動の発展を通じ、自社で行ってきた女性の積極的採用、女性を採用するにあたっての農業経営者が取り組むべき雇用や休日制度の改善案、女性たちがなぜあえて「農業」を選び貢献していくのかを、求職側・採用側双方に向け継続的に発信していくことも必要と考えます。

男性に比べて比較的劣る体力や女性特有のライフステージを考慮しても、新商品開発への意欲や安全な食への関心の高さなど、女性ならではの農業への携わり方は将来的に持続的な農業経営を行っていく中で必要不可欠であると考え、本事業によりさらなる女性農業者の獲得・定着に寄与できると考えます。

(注) 具体的に記載してください。

## 2 女性就農環境改善に向けた実施体制

[ 本事業における実施体制]

### (1) 女性が働きやすい環境整備

現在、敷地内に屋外休憩所としてテントが設けられているスペースにコンテナハウスを設置し、主に屋内での休憩施設として利用予定。多目的利用を想定した個室を設け、女性専用更衣室や子連れ出勤の際のキッズスペース、企画会議や動画撮影などでの利用を想定。

経営層により、女性社員目線での多目的個室の可能性や必要な設備面の要望とりまとめを行い、社員からは必要設備や備品整備の提案を募る。

### (2) 地域の女性農業者グループの活動支援

実施主体を有限会社かさい農産社員と業務委託先である一般社団法人やさいサラダ(就労継続支援事業所)職員とし、企画グループを設立。現在商品開発に携わっている女性社員を中心に5名ほどのグループを想定。利益も追及した持続可能な商品開発・販路開拓を提案・実施。同時に、女性同士での交流の場を活かし、より女性が就農しやすくなる、参加したくなる農業に必要な制度を考案。販売イベントの開催、就職イベントへの参加、SNS・動画サイトへの投稿などによってこれらの活動発信を行い波及的効果も狙う。

(注) 応募団体での受入体制や関係機関との連携状況等を具体的に記載してください。

第4の(1)の事業の応募者については、協議会等に属する構成員について5名以上の農業者(女性1名以上を含む)の氏名を記載してください。

### 3 女性就農環境改善のため実施している取組及び今後の取組

#### (1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>[ 実施中の取組 ]</p> <p>①就農希望者の研修・体験の受け入れ</p> <p>②視察の受け入れ</p> <p>③SNS での情報発信</p> <p>④教育機関との連携（高等学校、農業大学校）</p> <p>[ 今後の取組 ]</p> <p>①就農希望者の研修・受け入れ継続</p> <p>②視察受け入れ継続 （一関倫理法人会女性部、中小企業家同友会、地元小中学校、行政関係他）</p> <p>③SNS での情報発信継続 （内容：女性農業者の活躍、出産・育児に特化した雇用・就労制度、女性ならではの農業への携わり方等）</p> <p>④各種就職イベントへの参加 （ジョブカフェ、農業公社、地元行政機関等との連携）</p>	<p>（2021 年度実績）</p> <p>①男性 8 名、女性 5 名</p> <p>②年約 20 件</p> <p>③月 3 回</p> <p>④視察、求人对応</p> <p>（目標）</p> <p>①年間 10 名</p> <p>②年間 20 件</p> <p>③毎月 4 回</p> <p>④年 3 回</p>	

（注）「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

#### (2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>[ 実施中の取組 ]</p> <p>①地元カフェでのイベントの開催 （「農家がカフェをジャックする」をコンセプトに、女性社員が中心となり農業や食の魅力を発信）</p> <p>②移動販売会の実施 （地元地域で、買い物に行くことが難しい高齢層の住宅や主婦層が集まる施設を中心に実施。女性社員が中心となり、地域のコミュニティを活性化。）</p> <p>③いわて生協直売会の実施 （主な販売先であるいわて生協の敷地内におい</p>	<p>（2021 年度実績）</p> <p>①年 1 回</p> <p>②年約 40 回</p> <p>③年 10</p>	

<p>て、主婦層をメインに自社商品を販売。商品だけでなく会社の取組もPRすることで活動内容を普及。）</p> <p>[ 今後の取組 ]</p> <p>① 地元カフェイベント・移動販売・直売会の継続・発展 (本事業のグループ活動における新商品の提供)</p> <p>②ふれあい市の再開 (コロナ禍において中断していた敷地内における販売・交流会の再開。購買層だけでなく、女性就労希望者の呼び込みに向けた女性社員との交流・相談会を企画実施。)</p>	<p>(目標)</p> <p>① カフェイベント年1回 移動販売・直売会年50回</p> <p>②年10回</p>	
--	---	--

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(3) 女性就農環境改善に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>[ 実施中の取組 ]</p> <p>①子育てを優先した休暇の取得</p> <p>②家事・育児に配慮した短時間勤務制度</p> <p>③子連れ出勤制度</p> <p>[ 今後の取組 ]</p> <p>①上記①②の継続・普及</p> <p>②新商品開発 (「女性が開発した」商品というだけではなく、利益を追求することで活動自体を持続可能なものとし、女性の活躍や女性の農業への関心を波及させることを商品開発の目標とする。)</p> <p>例：自社有機人参を利用したピューレを介護食や離乳食などの業務用に開発。一般消費者にも食べ方を提案すると同時に活動を通じて女性の農業参画・活躍をPR。</p> <p>③子連れ出勤制度利用拡大に向けての検討会 (本事業で整備予定の多目的スペースを活用し、</p>	<p>(2021年度実績)</p> <p>①②現在の制度利用者数 5名</p> <p>③現在の制度利用者数 2名</p> <p>(目標)</p> <p>①現制度の維持</p> <p>②2022年12月末までの商品化</p> <p>③年4回</p>	

未就学児を対象とした子連れ出勤の可能性について検討、試験利用を行う。預ける場所がない、短時間だけ出社したい等の要望に今後対応可能か女性社員と検討を行い、制度利用拡大を狙うと共に働きやすさの向上を図る。）		
---	--	--

(注) 農業委員等に選出された等、地域での活躍状況等を「内容」欄に具体的に、取組内容等を含め記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

#### 4 女性の就農環境改善対策事業を活用した取組の計画内容

##### (1) 働きやすい環境整備への支援

###### 【計画内容】

時期	内容（対象者・方法等）	備考
2022年4月～	<input type="checkbox"/> 休憩所設置案作成 ・社員への聞き取り、要望とりまとめ（実施中） ・社員からの必要備品の提案 ・コンテナハウス見積（依頼中）	
6月～	<input type="checkbox"/> 休憩所設置 ・コンテナハウス購入契約手続き ・備品発注	
8月～（目標）	<input type="checkbox"/> 利用開始  ※施設利用によって得られる効果 ・屋内休憩スペースの確保 社員数と委託先社員数が合わせて76名（季節従事者含む）が在籍する中、屋内スペースは20席ほどしか確保できていないのが現状です。マイナス10度での屋外作業や炎天下でのハウス収穫を終えた後、屋内の快適な環境での休憩時間を提供できていない課題を緩和し、女性社員の働きやすさ向上、疲労や労働ストレスの軽減といった効果が得られます。 ・多目的スペースとして得られる効果 ①コンテナハウス内に鍵付きの個室を設けることで現在1名ずつしか着替えができない女性専用更衣スペースを拡大し、女性の就労環境改善及び雇用定着化を図ります。	

	<p>②簡易的なクッションフロアや絵本、遊具を用意し、子連れ出勤制度の利用促進につなげます。</p> <p>③現在すべて一緒になっている休憩室、来客室、会議室を分けて利用することが可能になり、休憩中のストレス軽減、集中した会議運営を行うことが可能になります。また、現在4名以上の人数を収容できる会議スペースがなく、本事業により発足したグループ活動において企画会議、勉強会、動画撮影などでの活用・それに伴う女性活躍の発信が大いに期待できます。</p> <p><input type="checkbox"/>対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性社員（21名）</li> <li>・事業委託先社員（19名）</li> <li>・新規女性就農者</li> <li>・研修、体験、視察見学者等</li> </ul>	
--	--	--

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、第4の(1)の事業の応募者は、確保する施設等について5名以上の女性の利用者がいることがわかるよう記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

## (2) 地域の女性グループの活動支援

【課題】 ※簡潔にご記入ください。※課題番号は必要に応じて追加・削除ください。

①	社内で女性の意見を集約・活用する場を提供できておらず、商品開発や社内で女性社員等の商品開発に関する意見を集約・活用できていない。
②	農業へのマイナスイメージ低減
③	後継者・担い手不足

【課題解決のための補助事業（概要）】※課題番号に対応するように記入ください。

①	グループの発足、商品開発への取り組み開始
②	SNSでのグループ活動内容発信
③	女性採用を積極化していくための情報発信、各種就職イベント等への参加

## 【事業成果と今後のプラン】

※課題番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品計画については、翌年度以降の販売事業計画をご記入ください。

①	実施主体を有限会社かさい農産社員と業務委託先である一般社団法人やさいサラダ職員とし、企画グループを設立。現在商品開発に携わっている女性社員を中心に5名ほどのグループを想定。利益も追及した持続可能な商品開発・販路開拓を提案・実施。
②	女性が活躍する現場を見てもらうことで、農業や食へ携わることの魅力を発信。SNSで

	の情報発信毎月4回を目標。
③	上記活動を発信するとともに、各種就職イベントへ年3回を目標に参加。また、グループ内で、より女性が就農しやすくなる、参加したくなる農業に必要な制度を考案予定。

【事業内容（詳細）】

課題番号	時期	グループ活動内容（対象者・方法等）	事業実施経費（費目、金額）	備考
①	2022年6月	対象者：社員、業務委託先職員 企画担当の社員を中心に商品開発等に向けての活動内容精査。活動開始。		
①	2022年10月	対象者：グループメンバー全員 商品開発試作作成		
①	2022年12月	対象者：グループメンバー全員 新商品販売に向けてのイベント準備		
②	2022年6月～	対象者：企画広報担当者 ①の活動をSNSで発信		
③	2022年6月～	対象者：グループメンバー全員 活動内容の発信、各種就職イベント参加		

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数	10人
(新規確保女性農業者の内訳)	
自営農業就業者	人、雇用就農者 5人、アルバイト・ボランティア等 5人

(注) 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者(結婚を機に就農された方含む)、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等を含む農業関連事業従事年間30日以上の方とします。農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含みます。